

令和6年度 学校経営報告

1 今年度の重点目標・数値目標

(1) 学習指導

- ① 普通教科（基礎学力の定着と向上）
 - ・国語：読解力の定着、語彙力の増強、漢字検定合格者増加
 - ・地歴公民科：主権者教育、常識ある行動の基となる基礎知識と実践力の定着
 - ・数学、理科：基礎・基本の定着を図り、資格取得率の向上
 - ・英語：基礎学力の定着及び検定受験を取り入れた教科指導
 - ・保健体育：基礎体力の向上、体力テスト全国平均を目標
- ② 工業科：「ものづくりを通して人をつくる」指導体制の充実
 - ・教科「工業情報数理」の実践的、体験的な学習活動の実施
 - ・教科・分掌を横断した指導により、資格取得・検定合格者の総延べ数を50名、ジュニアマイスター顕彰受賞の輩出
- ③ 全教科
 - ・始業前学習時間の充実、学習教材の有効活用
 - ・補習・補講を5時間以上行い、基礎学力の定着及び向上ならびに学習意欲の向上
 - ・ICT機器やデジタル教材の有効活用およびPBL(課題解決型学習)を取り入れた総合的かつ実践的な知識・技能の育成
- ④ 個に応じた指導
 - ・特別な支援を必要とする生徒に対する指導の充実と授業改善にかかわる校内研修の実施
- ⑤ 授業改善、教員相互の授業見学を年3回実施
- ⑥ 読書活動の充実と図書館利用率の向上、各授業で年間3回以上の図書館利用

(2) 生活指導・進路指導

- ① 進路決定率100%、進路未決定者をゼロにする。
- ② 2・3学年対象インターンシップ3日間、全員参加実施
- ③ 進級・卒業率を1年生70%以上、2年生90%以上、3年生100%、4年生100%を目指す。
- ④ 年間指導計画に基づいたホームルーム活動の実施、個人面談を年3回以上実施。保護者会や懇談会を複数回実施。
- ⑤ 生活指導統一基準：「身に付けさせる規律・規範」に基づき全教員による生活指導に取り組む。全教員が始業開始のチャイムで始め、終わりのチャイムまで授業を行い、生徒に「時間を守る」意識を育成する。
- ⑥ いじめ総合対策【第2次】に基づき、全職員が早期発見や未然防止に努め、いじめゼロを目指す。アンケート等を各学期に実施し、全教職員による早期発見と未然防止の徹底を図る。
- ⑦ 特別な支援を必要とする生徒へ連絡会：学期1回
- ⑧ 皆勤者・精勤者の割合30%以上を目指す。
- ⑨ 東商会員との交流会等に積極的に参加し、企業との交流を深め、進路先、連携先企業開拓に努める。

(3) 特活・部活

- ① 工業関連講演会：1回以上実施
- ② 部活動の年度当初の部活動加入率：80%以上
- ③ 年間目標、指導方針、指導内容、指導方法等について計画を立て、体罰、暴力的指導および行き過ぎた指導のない部活動の実施
- ④ 「TOKYO ACTIVE PLAN for students」に基づき、体育的行事、運動部奨励する。
- ⑤ 生徒にボランティア活動を推奨し、社会貢献への自発的・自治的な取り組みによって社会奉仕の精神と社会の一員としての自覚と責任を養う。”

(4) 安全・健康教育

- ① すべての教育活動において、安全教育、安全点検を徹底し、学校事故、重大事故ゼロの堅持
- ② 1年生を対象のグループエンカウンター：2回実施
- ③ 1年生全員がSC面談を行い、相談しやすい環境を構築。
- ④ セーフティ教室（薬物乱用防止、交通安全教育、SNS等に対する安全管理等）：年3回実施
- ⑤ 防災教育の観点から現実的な課題に対応した防災訓練、避難訓練：年間4回以上実施

- ⑥ 歯科保健指導：1回実施
- ⑦ ヘルメット装着率：90%以上
- (5) 募集広報
 - ① HPを週一回以上更新し、充実を図るとともに本校定時制の一層の理解を目指す。
 - ② 第一次募集の応募倍率1倍以上の確保
 - ③ 近隣中学校訪問等を、教務部を中心に全教職員で行う募集活動の展開
 - ④ 学校説明会等3回以上実施、参加者延べ総数60名以上
 - ⑤ HPやTeams等の情報発信能力を最大限に活用して、学校の教育活動、資格取得状況、進路状況、給食等の学校情報を月に2回以上の配信
 - ⑥ 本校への興味関心が高まる学校紹介の動画の作成
 - ⑦ 地域の募集対策関連事業への積極的な参加
- (6) 学校経営・組織
 - ① 開かれた学校づくりを推進のため、通年の授業公開と授業公開週間：年間3回以上実施
 - ② 地域や関係機関と連携し、各災害に備える防災訓練、避難訓練を実施
 - ③ 服務事故に関する校内研修を年2回以上実施し、事故の未然防止を徹底
 - ④ 月45時間以上の超過勤務教員の縮減
 - ⑤ 各種会議の開始時間厳守及び上限時間（1時間以内）を設けて業務の効率化
 - ⑥ 教員の最新のデジタル技術・知識に加え、企業における活用事例や製品開発等の現場を学び、社会で通用する実践的能力を高める教育と人財育成の充実を図る。
- (7) 経営企画室
 - ① 私費会計の適正な管理に努め、保護者への説明責任に応えられる適正な会計処理の実施（学校徴収金未納による赤字執行ゼロの徹底）
 - ② 学校経営計画に基づく公開的な予算の編成及び執行に取り組み、効率的かつ有効的な予算活用とセンター執行率の向上に努める。
 - ③ 個人情報適切な管理・取り扱いの実施、個人情報漏えい防止の徹底（事故ゼロ）
 - ④ 生徒の健康を重視した安心・安全で温かな給食の提供
 - ⑤ 校舎老朽化にともなう早急な校舎改築を含む修繕・改善の不断的申請
 - ⑥ SDGs（持続可能な開発目標）の推進

2 今年度の成果と実績

(1) 学習指導

- ① ★普通教科では、一人1台端末を活用し、生徒の基礎学力の定着・向上を図った。
 - ・国語科 1年と2年が合同で受検し、4級1名・5級2名の3名が合格した。来年度も全員の合格を目指して指導していく。
 - ・地歴公民科 社会の一員として常識ある行動がとれるよう、知識と実践力の定着を図った。
 - ・数学科 一人1台端末とICT機器をフル活用し、生徒の学習への意欲を引き出し、学力の向上に取り組んだ。
 - ・理科 生徒の興味・関心を高めるために一人1台端末とICT機器、VRを活用し授業に取り組んだ。
 - ・英語科 ALTを活用し、社会の国際化に対応する英語の基礎学力の定着を図る指導を行った。
 - ・保健体育科 東京都統一体力テストを授業内で実施するとともに体力向上に努めた。
- ② 工業科では、社会人及び技術者としての資質を育てる指導を充実するため、普通科と連携を取りながら、各コースの専門性を深め、「ものづくりを通して人をつくる」教育に取り組んだ。
- ③ 個に応じた指導として、特別支援教育委員会を中心として、情報共有と必要な支援について取り組んだ。
- ④ 若手教員研修を通して、研究授業を年間3回実施することができた。
- ⑤ 授業開始前の時間を振り返り学習の時間として、一人1台端末を活用し、基礎学力の向上ととも出席率の向上に努めることができた。
- ⑥ 2学期の始めに学年で読書週間を実施したが、読書活動の定着には、結び付けることは困難であった。

(2) 生活指導・進路指導

- ①★就職内定率100%（内定者7名）。なお、進学希望者はいなかった。
- ②★企業との連携を強化して2・3年生全員を対象に「インターンシップ」を3日計画した。受入協力企業6社に9名の生徒が参加した。
- ③ 進級・卒業率は、1年生50%（目標70%以上）、2年生100%（目標90%以上）、3年生100%（目標100%）、4年生85%（目標100%）であった。
- ④ 年間指導計画に基づいたHR活動を行うと共に、SCと協力し個人面談を必要に応じ実施した。
- ⑤ 生活指導統一基準「身に付けさせたい規律・規範」に関する全体計画を作成し、全教員が協力して生活指導に取り組み、社会人としての資質を伸長することができた。特に、全教員が始業開始のチャイムで始め、終わりのチャイムまで授業を行うことを徹底し、生徒に「時間を守る」意識を育成することができた。
- ⑥ いじめ総合対策【第2次】に基づき、全職員が早期発見や未然防止に努め、いじめゼロの目標を達成することができた。
- ⑦ 特別な支援を必要とする生徒への積極的な支援は、居住地区の保健師及び担当医、スクールカウンセラー、シニア・スクールカウンセラーと外部機関との連携を図り、取組むことができた。
- ⑧ 皆勤者・精勤者の割合を在校生の20%を目標に定めたが、結果は40%と大きく目標を超えて達成することができた。
- (3) 特別活動・部活動
 - ① 12月に球技大会を実施することができた。
 - ② 部活動の奨励を図ったが、年度当初の部活動加入率は92%（目標80%）であった。
 - ③ スポーツレクリエーション部に多くの生徒が入部し、ホビー部とともに活発に活動していた。
- (4) 安全・健康教育
 - ① すべての教育活動において、安全教育、安全点検を徹底し、学校事故は無く、生徒の重大事故も発生しなかった。
 - ② 1年生を対象に、専門家（大学教員）を招いてグループエンカウンターを2回実施することができ、生徒の相互理解に大きく寄与した。
 - ③ ホームルーム担任と各機関との連携を深め、1年生全員とスクールカウンセラーとの面接を実施することができた。
 - ④ セーフティ教室（5月 SNS教室、12月 薬物乱用防止教室・自転車シミュレーターによる交通安全教室）を年3回実施することができた。
 - ⑤ 避難誘導を行う避難訓練を年間4回実施した。
- (5) 募集広報
 - ① 第一次募集の応募倍率1倍以上の確保については、昨年と同様の0.3倍となり目標値を大きく下回る結果となった。
 - ② 近隣中学校訪問等を、教務部中心に全教職員で行う募集活動を実施したが、応募倍率の増加にはならなかった。
 - ③ 学校説明会を3回と一日体験入学1回を実施した。参加者総数は、12組であった。昨年の18組に比べ、参加組数が減少した。
 - ④ HPや携帯メール配信を活用して、学校の教育活動、資格取得状況、進路状況、給食等の学校情報など年間の更新回数は124回となり、閲覧回数は、42000を超えた。
 - ⑤ 新しいホームページに定期的に記事を掲載した。多くの人に興味関心を持ってもらうために、「難読漢字クイズ」など遊び要素を取り入れた内容も掲載した。
- (6) 学校経営・組織体制
 - ① 新学習指導要領の実施に伴い、観点別評価に関する校内研修会を実施した。
 - ② 開かれた学校づくりを推進し、通年の授業公開と授業公開週間を年間3回以上実施することができたが、3回を通して来校者は数名であった。
 - ③ 地域や関係機関と連携した、災害に備える防災訓練を今年度は実施することができなかった。
 - ④ 体罰防止に関する研修を学期に1回以上実施し、体罰事故ゼロの徹底を図った。
 - ⑤ 個人情報の適切な管理の研修会を行い全ての教員が実施することが出来た。
 - ⑥ 週当たりの在校時間45時間以上の教員が2名いた。
 - ⑦ 各種会議の開始時間厳守及び上限時間（1時間以内）を設け業務の効率化を図ることができた。
- (7) 経営企画室
 - ① 私費会計の適正な管理については、保護者への説明責任に応えられる適正な会計処理の実施に努めることができた。

- ② 学校経営計画に基づく効果的な予算の編成及び執行については、効率的かつ有効に予算を活用し、センター執行率の向上に努めた。
- ③ 個人情報の適切な管理・取り扱いの実施については、個人情報漏えい防止の徹底を行った。
- ④ 生徒の健康を重視した安心・安全で温かな給食の提供を行った。

3 次年度以降の課題及び対応策

(1) 学力向上への取組

給食と1時間目の間の振り返り学習は、普通教科が連携して、基礎学力の定着・向上に取組み、指導の充実を図る。

国語科では、1学年と2学年全員、他希望生徒に漢字検定の受検を指導し、合格を目指す。国語に親しみがもてるよう授業を工夫し、基礎学力の向上を図る。

地歴公民科では、公共の授業を通して、社会の一員として、常識ある行動がとれるよう、知識と実践力の定着を目指す。

数学・理科では、工業科と連携し、基礎・基本の定着を図り、資格取得の合格率向上を目指す。

英語科では、社会の国際化に対応する英語の基礎・基本を分かるまで繰り返し学び、英語の基礎学力定着を図る。

保健体育科では、東京都統一体力テストの各項目で、平均値に達することができなかった。そのため、様々な機会を生かして、体力の向上を目指す。

工業科では、社会人及び技術者としての資質を育てる指導を行い、普通科と連携を図りながら、各コースの専門性を深めるよう努め、「ものづくりを通して人をつくる」教育に引き続き取り組む。

読書活動の定着については、各学年において、2学期はじめに読書週間を実施したが、読書への習慣づけまでには至っていない。図書館ポップの作製に取り組み、ビブリオバトルへの参加やクラスごとの読書指導に取り組む。

(2) 教育相談の充実

本校では、学習や生活面に課題のある生徒の入学が増えている。特に人間関係において、“コミュニケーション能力”が不足しているなど、学校生活に支障を来す場合が考えられる。そのため、1年生では、スクールカウンセラーによる全員面接を早期に行い生徒の状況を把握し、不適応や不登校の問題に発展する前に、情報共有を行い、職員全員で対応していく。

さらに、グループエンカウンターを実施することで、クラスの人間関係づくりに役立てている。

そして、特別な支援を必要とする生徒に対して、都立版エリアネットワークを活用するとともに、ユースソーシャルワーカー（YSW）等も連携し教育相談の充実を図る。また、特別支援学校との交流やコミュニケーションアシスト講座への受講案内など、外部機関との連携も推進する。

(3) キャリア教育の充実

9月に実施した、4年生全員を対象とした面接指導会は、進路選択や進路決定の活動にも役立ち、就職内定率100%であった。引き続き、インターンシップや面接指導会等のキャリア教育の充実を図り、生徒の職業観・勤労観を育てていく。

また、進学希望者に対しても、大学の入試に対応した体制を整え強化する。

(4) 生徒募集活動

入学者選抜における第一次募集の応募倍率は、昨年と同じ0.3倍であった。第一次募集の応募倍率は、10年連続で1倍を下回っている。二次募集、三次募集と数名の入学生徒はいるが、定員には遠く及ばない。中学校訪問や校外の学校説明会等にも積極的に参加しているが、応募者の増加にはならない。今年度もさんだる相談会や児童館など中学生が集まる場所に対して、広報活動に取り組んでいく。

ホームページの充実に力を入れ、「今日の給食」「漢字クイズ」などのニュースを110以上の更新を行った。常に新しい情報を提供することでアクセス数は、4万を超えている。

等を見栄えの良いホームページになったと考える。中学生やその保護者の興味関心を引き出すようなホームページにしていくため、新しいアイデアを考え、本校を希望する生徒が一人でも増える取組を行う。

※まなびゅ〜のアドレス https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/school_video.html